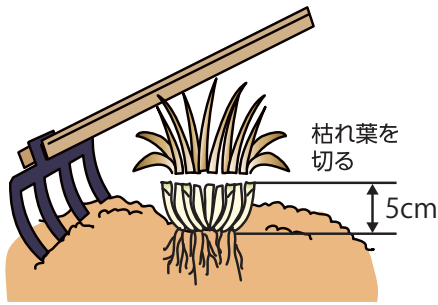
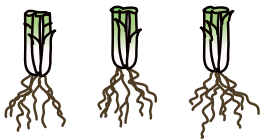


(図1)



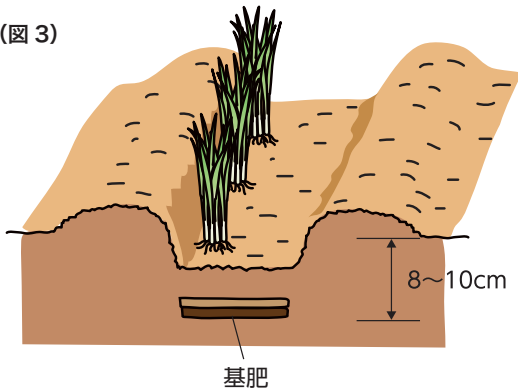
力を入れて大きく掘り起こす

(図2)



指先で2~3本ずつに分割する

(図3)



そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い良質なニラになります。株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で、通常古株は使いません。

肉との相性が良く、スタミナ料理などで親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した強い野菜といえるでしょう。しかし、いくら強いといっても2~3年取り続けると、株が密生気味になり、幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまう。そうなる前に株分けし、更新する

チャレンジ！
野菜づくり
ニラは早めの株分けと更新

板木技術士事務所 板木利隆

のが得策です。株分けが一番良い時期は、葉が枯れ、根株が休眠状態に入っている冬の間です。この頃は根に栄養が十分蓄えられているので、断根や株の分割という荒療治をしても、傷みが少ないからです。株分けの方法は、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmぐらいの高さできれいに刈り取ります。そして株の周りにクワかスコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします(図1)。根は強大で、広範囲に広がっており、全てを一気に掘り取れないので、途中で縦に切断しても構いません。掘り上げたら土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大

割りし、さらに小割りして、(図2)のように2~3本ずつに分割します。これを2~3個まとめて20~25cmの株間に植え付けます。植え溝は事前に、8~10cmぐらいの深さに掘り、基肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十分に施しておきます。植える際には、根株を丸く束ねないようにし、茎が一直線に並ぶように植えます(図3)。溝は深めに掘って、植えた根株を寒気や乾燥から守ってやります。覆土は株の上部がやや出るくらいにとどめておき、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。

農機センターからのお知らせ

使わなくなった農業機械はありますか？



農機センターでは、農業機械の再利用を進めており、ご使用にならなくなった農業機械の買取・販売を行っています。

- 倉庫に使わない農業機械がある
 - 農業をやめたので使わなくなった農業機械がある
 - 古い農業機械がある
- などお心当たりのある方は、気軽にお問い合わせください。※状態によっては買い取りできない場合があります。
- お問い合わせ先
農機センター
(中主営農センター内)
☎589・2308

(担当:橋本・北山)



今月の農家さん

協力して地域の農地を守る

守山市木浜町

秋山 新治さん (66才)



地元の農家の皆さんの理解と協力を得て、今年1月に木浜営農組合を法人化し、理事の一人として活躍する秋山さん。組合員41人からおよそ60haの農地を集積し、米・麦・大豆の土地利用型農業と農地の保全に努めています。

「農業者の高齢化が進む中、農地を守るためにJAや地域の担い手、県の普及員などと協力するだけでなく、地域の中でも協力し合う事が大切です」と秋山さん。

法人化に向けて、書類作成や組合員さんへ

の説明など多くの仕事があり、それが一段落してから7月の西日本豪雨や、8月の記録的猛暑で大豆の収量に大きな影響が出るなど予想外の苦労をされています。

最後に秋山さんは「営農組合の施設や機械の整備にも取り組み、事業を安定して受け継いでもらえる人材を育てていく事が今の目標です。営農組合と地域の担い手が共存・共栄し、先人たちが守ってこられた美しい田を子どもたちに引き継ぎたいです」と抱負を語られました。

営農情報

◆農作業事故について

毎年、農作業による事故が多く発生しています。

平成29年に滋賀県で発生した農作業事故は40件でした。その内訳は、死亡3件、重傷18件、軽傷10件、物損7件となっています。

作業別では、草刈による事故が11件で最も多く、次いで刈取・脱穀の8件です。

機械別では、コンバイン、草刈機、トラクターの順に多く事故が発生しています。

	人身事故				物損事故	合計
	軽傷	重症	死亡	不明		
耕耘・代かき	0	2	0	1	1	4
草刈	4	4	0	1	2	11
刈取・脱穀	4	2	0	0	2	8
移動・運搬	0	0	1	0	2	3
乾燥・調整	0	1	1	0	0	2
肥料・農薬散布	0	1	0	0	0	1
その他の機械・道具	2	8	1	0	0	11
合計	10	18	3	2	7	40

(滋賀県公式ホームページ…平成29年農作業事故実態調査結果より抜粋)

◆草刈機の使用時は特に注意

草刈機を使用する際は、斜面に注意し、不安定な姿勢にならないよう気を付けましょう。

毎年、傾斜面からの転落や不安定な姿勢によるアキレス腱の損傷などが多く見られます。

傾斜面では常に安定した姿勢を保つように心がけ、スパイクのついた靴を履く、小段を設置して足場を確保するなどの対策をする事が重要です。

また、集団で草刈機を使用する場合、作業者同士の距離が近いと、振り向きざまに足を切るなど思わぬ怪我をする恐れがあります。十分に距離をとり、安全に作業を行います。

○草刈機使用時の服装

